

## 花粉情報の的中率とランク別予報の意義について

村山貢司、鈴木基雄、佐橋紀男（NPO 花粉情報協会）

春の花粉飛散期には各地で花粉情報が出されており、スギ花粉症患者の花粉暴露回避、治療方針の選択に用いられている。花粉情報の有効性については当然ながら情報の的中率がある程度保証されることが必要になるが、2006年春における花粉情報の的中率についての検証では、花粉情報の的中率はかなり低く、予報が実際の花粉より多めの場合が多くなっていた。この点を花粉情報の担当者に示した上で、2007年の花粉情報についてどの程度改善されたかを検証した。検証は、花粉の飛散初期および終了期は花粉が少ないために、当然ながら的中率が高くなる。このために飛散最盛期である。3月について各地の花粉情報と実際の飛散数の検証を行った。結果は花粉情報の的中率は2007年も低めであり、今回の検証でも実際の花粉数より多目の予報を出す地域が多くなっていた。

一方、東京では観測開始以来花粉の増加傾向が続いている。シーズンの花粉飛散の総量に対して、前年の比較のみが強調されると、花粉の絶対数はかなり多いのに前年比で少ない点のみがニュースになってしまうきらいがある。東京都の予測では今年度から、シーズンの花粉数の総量予測以外に、シーズン中に10個、30個、50個以上の日が何日程度出現するかを予測を行ったので、事例を紹介する。花粉のランク別の日数は図のようにシーズンの飛散数と高い相関にある。

